

- ◆企画名 新入生を迎えるにあたって
 日程 2018年2月23日(金)
 場所 第2学舎2号館 C204教室
 参加者数 25名(ピア・サポータ21名、学生支援室TA2名、職員2名)
 目的

シニア・サポータのこれまでの経験に基づき、「気づき」の場を提供することで、各コミュニティで主力として活躍するピア・サポータが多角的視点を持つための機会とする。

内 容

- 13:30 はじめに
 ・企画説明 ・シニア・サポータの紹介
- 13:35 第1部 ～伝え方～ より良いガイダンスの仕方を考えよう
 ガイダンスを実際に行い、コミュニティ間での違いや、効果的な伝え方についてグループワークを通して考える。
- 15:00 第2部 ～接し方～ 新入生の気持ちを理解しよう
 ミーティング場面を想定したロールプレイを実施し、新入生をミーティングに迎える際に、どのような対応が適切か考える。
- 15:55 シニア・サポータからのメッセージ

効 果

- ・年間を通して、シニア・サポータとして、自分たちの果たすべき役割を考え、ピア・コミュニティの課題を検討し、適切な時期に必要な情報の提供や、「気づき」の機会を作ることができた。
- ・ガイダンスを実践するグループワーク(第1部)では、まだガイダンスを経験していないサポータにとって、次年度を迎える前に経験する良い機会となった。また、自身のコミュニティの理念や活動をより知ることができるとともに、他のコミュニティのことを知るきっかけともなった。
- ・新入生が参加しているミーティング場面を想定したロールプレイ(第2部)では、現役のサポータのみでは気づきにくい、新入生への適切なフォロー・対応を、悪い場面と改善した場面の2通り実施することで、わかりやすく、また考えるきっかけとなった。

改 善 点

特になし

感 想

- ・各コミュニティにおいて、新年度を迎えるにあたり課題となる新メンバー募集について、募集からアフターフォローまで、コミュニティを越えて意見交換や考えることができ有意義であったと思う。
- ・コミュニティで主力として活動するサポータを対象とすることで、シニア・サポータのこれまでの経験と気づきを、活動中の後輩サポータに直接継承することができる機会となり、シニア・サポータの活動として意義があると感じた。
- ・次年度も、継続してシニア・サポータとして、現在のピア・コミュニティの現状を俯瞰的に把握するとともに、自身の経験に基づき、後輩達への日常的なアドバイスや企画実施を通して、ピア・コミュニティの活動を継承していきたいと思う。

